

就労支援で復職の道を開き 誰もがいきいき働ける 職場環境を構築

株式会社櫻井謙二商店



面談の様子

株式会社櫻井謙二商店は、昭和7（1932）年の創業以来83年にわたり、食品卸売業一筋に業容を拡大、千葉県銚子市を拠点にスーパーや小売店、ホテル、レストラン等への食材の流通を担い続けてきた。地域密着型の企業として発展を遂げてきた歴史を守り、従業員のよりよい職場環境の整備を目指す先頭に立つのは4代目の櫻井公恵社長。社長自らのご家族の経験に基づいた上で取り組まれている、がんに罹患した従業員の就労支援についてお話を伺った。

就労支援を開始

「私ごとになりますが、夫はがんで亡くなる2週間前まで当社で入社し働いていました。その姿を見続けてきましたから、女性従業員（以後、Aさん）からがんであることを報告されたとき『辞める必要はないよ』と思わず心の中でつぶやきました。2009年初春のことで、私が叔父に次いで社長になる前の出来事でした。その叔父もやはりがんで帰らぬ人となりました。実は2代目社長であった私の父もがんで亡くなっています。がんとわかれば、まずは『治療』となり、働くことを考えるのは後回しになってしまうのは当然で、周りの対応もそうなるかもしれません。しかし、私の夫のように治療しながら就労できる道も必ずあると、とても自然な流れで私たちはAさんの復職をイメージすることができました。何よりも大切なのはAさんの気持ちでしたが、Aさんにも職場復帰への気持ちがありました」と櫻井社長。

同社の就労支援の取組みは、ここから幕が開く。もちろん、過去にはりウマチや心疾患で闘病していた従業員を支

えてきた例もあるが、がんの就労支援の取組みとしてはAさんが初めてのケースとなった。当時、同社には就業規則に休職規程が明文化されていなかったが、全国健康保険協会に加入していたため、最長で1年6カ月の傷病手当金が給付される。この制度を利用してAさんは2009年4月から休職、治療に専念することに。休職期間は手術を挟んで9カ月に及んだ。

「うちの従業員は近隣で暮らす人が多いので

すが、Aさんもそうであったことが幸いでした。退院後の休職期間中は、通院の途中に会社に立ち寄り、私や同僚たちとコミュニケーションをとることができましたし、本人にとっても復職の意欲が高まる機会になりました。休職期間を終え、いざ復帰ということになりますが、Aさんの体力や身体の状態やなどをじっくり話し合う中で、当面は1日2時間程度の勤務ということと話がまとまりました。その後順調に回復し、1カ月後には通常より1時間短い短時間勤務となり、さらに2年半後には完全に通常勤務に戻りました。本人の努力はもちろん、周りで支えてきた同僚たちもよいフォローができたと思います。就労支援というと制度の整備のように考えがちですが、お互いを支え合う職場環境の構築にヒントがありました。Aさんは今も第一線で元気に働いています」と櫻井社長は力を込めた。

Aさんの休職や短時間勤務によって低下する戦力をカバーし合えた背景には、日頃から介護やシングルマザーなどさまざまな事情を抱える人たちが柔軟に働くことができる職場環境を作っていたことや、連綿と続いてきた『人を思いやる社風』があった。

給与体系の整備がポイント

職場のメンバーがサポートする中で、Aさんが職場のメンバーに自ら病名をオープンにしながら、みんなで対応策を考えたことで全員のモチベーションも高まり、よい結果につながったという。さらに、「復職した人が働きやすい現場を作っていくためのポイントは給与体系ではないかということがAさんの例からよくわかりました。経営者としては、そのままの給与体系でよいのではと思いましたが、責任感の強いAさんから『他の人と違わなければかえって働きにくい』と指摘され、2時間のリハビリ勤務と短時間勤務の間は時給とし、フルタイム勤務に戻った時点で月給に戻しました。確かにその方が当事者だけでなく受け入れる従業員も納得がいき、それがお互いの思いやりにつながっていきます。18歳で入社して30年近くになるAさんは今や会社の中核となる存在ですが、会社全体を考えての給与の申し入れには目の覚める思いでした」と櫻井社長が振り返った。

『櫻井健康プロジェクト』誕生

「就労支援の事例紹介として人前でお話しする機会が増えましたが、恥ずかしいことに従業員の健康に関する意識の改革などという点では当社は遅れていました。健康診断は100%受診ですが、受診することでよとしてきました。ただ、私自身が大切な人たちをがんで失っており、健康の大切さや予防の取組みの重要性は痛感していますから、5年前の社長就任以来、健康診断の結果について一人ひとりの顔を見ながら直接報告するようにしています(写真)。健康上の問題を抱えている人が少なくないことがわかり、一念発起して3年前から取り組んでいるのが『櫻井健康プロジェクト』です。名前だけ聞くと格好いいのですが、要は健康診断受診後のフォローを会社として取り組んでいこうということです」と櫻井社長。プロジェクトの1年目は、コレステロール対策に取り組み、商売柄お付き合いのある会社の協力を得て、対象者に健康食品等を提供し、5名中2名に効果が現れた。2年目は血糖値対策をテーマにして一定の効果があつた。3年目の今年には『体重』をテーマとしている。「これからはもう少し他社の好例に学んで、仕組みづくりから見直していかなければと思っています。いずれにしても中小企業でもできることが無数にあるはずですよ。楽しく挑戦していきたい」(櫻井社長)。

自らの辛い体験を力に変えて、従業員の治療と就労の両立支援を支える牽引車となってきた。がん治療に限らず、従業員のさまざまな事情に柔軟に対応できる同社の就労のあり方に今、熱い視線が集まり、取材や報告などの機会が増えているという。

「誰かが語ることで就労支援の道が大きく開かれるのなら、喜んで自分の経験を語り続けたい」と櫻井社長は笑顔で締めくくった。

会社概要

株式会社櫻井謙二商店
事業内容：食品卸売業
設立：昭和7年
従業員：31人
所在地：千葉県銚子市